

2022年度 国際コミュニケーション学会評議員教育研究実績

岩田 晋典 (教授)

《論文》

旅行メディアにおけるカナダの魅力―「地球の歩き方ガイドブック」シリーズ・カナダ編の主要部分の分析― 『文明21』 第49号 1-20頁 2022年12月

《その他》

旅行メディア知の理解に向けて―ポスト・パンデミック時代の海外旅行を楽しむために― 単著 名古屋市市民大学公開講演会 2023年1月

ドイツのミネラルウォーター文化 単著 名古屋日独協会 2022年11月

《学会等発表》

「大旅行誌」デジタルアーカイブの構築に向けて 国際シンポジウム「東亜同文書院「大旅行」と現代東アジア」 2023年3月

加納 寛 (教授)

《論文》

戦時期日本は大東亜共栄圏の女性たちに何を期待したか―対外グラフ誌『フジンアジア』の内容分析から― 単著 『国際問題研究所紀要』161号、愛知大学国際問題研究所 1-20頁 2023年2月

東亜同文書院生がみた20世紀前半の雲崗石窟 単著 『旃檀林の考古学Ⅱ―大竹憲治先生古稀記念論文集―大竹憲治先生古稀記念論文集刊行会 579-588頁 2022年12月

《その他》

Visualize the Invisible Things: Japanese and Thai Lived Religions Seen from Material Culture Approach 単著 The Art History Program of California State University, Fresno, and the Fresno Country Archaeological Society (FCAS) 2022年12月

《エッセイ》

街角や民家で見られる神々―バンコクの民間信仰― 単著 『所報』728号、盤谷日本人商工会議所 15-19頁 2022年12月

タイにおける旅行と交通―日本の常識は通じないぜ― 単著 愛知大学語学教育研究室『Aichi University Lingua』第19号 pp. 6-7 2022年7月

《講演》

学修成果の可視化ツールに関するモニタ実施結果の紹介―国際コミュニケーション学部におけるPROGトライアル受験の活用法― 単独 大学教育問題全学講演会(愛知大学) 2022年5月

展覧会「Dog eat Dog」講演会&クロストーク 共同 展覧会「Dog eat Dog」(長者町コットンビル1階ギャラリー) 長谷川ひとみ氏との共同イベントトーク 2022年8月

《学会等発表会》

東亜同文書院「大旅行」にみる学・軍関係―駐在武官との接触を軸として― 単独 国際シンポジウム「東亜同文書院「大旅行」と現代東アジア」 2023年3月

- 第2次大戦期日本によるプロパガンダの訴求対象としてのタイ女性 単独 日本タイ学会2022年度研究大会（愛知大学） 2022年7月
- 鎌倉 義士（教授）**
《研究会》
- Sarah Ogilvie (2020) The Cambridge Companion to English Dictionaries 単独 関西英語辞書学研究会 265-273 2023年1月
- Sarah Ogilvie (2020) The Cambridge Companion to English Dictionaries 単独 関西英語辞書学研究会 219-239 2022年9月
- 北尾 泰幸（教授）**
《論文》
- Subextraction and Freezing Effects in It-Clefts 単独 『文學論叢』第160輯、愛知大学人文社会学研究所 pp. 1-35 2023年3月
- 塩山 正純（教授）**
《論文》
- 『致富新書訳解』（1875）が経済を説明したことばについて 単著 『日中語彙研究』第12号 愛知大学中日大辞典編集部 241-259頁 2023年3月
- 《テキスト》
- 初級中国語 会話編—自分のことばで話す中国語— 改訂版 共著 金星堂 奥村佳代子、塩山正純、張軼欧 全78頁 2023年1月
- 初級中国語 講読編—自分のことばで表現する中国語— 改訂版 共著 金星堂 奥村佳代子、塩山正純、張軼欧 全78頁 2023年1月
- 《その他》
- 館長就任の挨拶 さらに魅力ある教育・研究のための大学図書館に 単著 愛知大学図書館『愛知大学図書館報 韋編』49号 2頁 2022年11月
- 《学会展望》
- 学会展望（語学）（四、語彙・語法（近代）） 単著 日本中国語学会『中国語学』第269号 137-139頁 2022年10月
- 《国際シンポジウム報告》
- 『北京官話旅行用語』と大調査旅行のコミュニケーション 単独 愛知大学国際問題研究所国際シンポジウム「東亜同文書院「大旅行」と現代東アジア」（愛知大学名古屋キャンパス）オンライン併用 2023年3月
- 東亜同文書院の大調査旅行の足跡を可視化する—『大旅行誌』の記録によるデジタルアーカイブの作成— 単独 KU-ORCAS 研究集会 言語交渉研究班「言語研究とデジタルヒューマニティーズ」（関西大学）オンライン併用 2023年3月
- 近代在华欧美女学者的“官話”観以海伦・倪维思的回忆录为主 単独 東アジア文化交渉学会第13回年次大会（韓国・啓明大学校）オンライン 2022年5月

东亚同文书院の大調査旅行和其两种汉语教材	単独	Eleventh Italian Japanese Chinese Researchers Seminar on Language and Cultural Exchanges Honouring Professor Uchida keichi's retirement 第十一届意中日研究生语言文化交流研究论坛暨内田庆市教授退休纪念 (Sapienza University of Rome) オンライン併用	2022年9月
《学会報告》			
ニュース記事レアリアを使う学習—“光盘行动”を例に—	単独	中国語教育学会2022年度第3回研究会ワークショップ2「レアリアで授業を作るために—中国語教育の場合—」 オンライン	2023年2月
書院生が『華語萃編』初集で学んだ「北京官話」について	単独	中国近世語学会2022年度研究集会（一般財団法人日本中国語検定協会） オンライン併用	2022年12月
《研究会報告》			
宣教師ネヴィアス夫人による中国語に関する記録について	単独	2022年度第3回 KU-ORCAS 研究例会（第4回東西学術研究所研究例会）—言語交渉研究班—（関西大学） オンライン併用	2022年10月
《海外学会招待報告書》			
戦前日本学生のフィールドワークのための中国語—東亜同文书院編『北京官話旅行用語』のことばを中心に—	単独	第13次国際訳学書学会国際学術会議（韓国・仁荷大学校） オンライン	2022年9月
鈴木 則夫（教授）			
《論文》			
尾崎秀実における〈民族〉の位相—東アジア知識人のジレンマ—	単著	『武蔵野大学政治経済研究所年報』第22号 151-74頁	2023年2月
《書評》			
〈中間世界〉の修復へ、世界の滅びゆく前に—磯前順一『公共宗教論から謎めいた他者論へ』書評—	単独	『週刊読書人』2023年1月6日号	2023年1月
《学会報告》			
尾崎秀実における〈民族〉の位相—東アジア知識人のジレンマ—	単独	東アジア実学国際会議（高麗大学）2022年12月15日～17日	2022年12月
《国際シンポジウム》			
新世界秩序における日中関係のこれまでの百年、これからの百年—武者小路公秀教授と加々美光行教授との人と学問を軸に—	単独	愛知大学人文社会研究所主催日中国交回復50周年記念 武者小路公秀教授・加々美光行教授追悼国際シンポジウム	2022年9月

高原 隆（教授）

《論文》

- 新・鬼師の世界—周縁の再中心化：「鬼滅の刃」と「鬼師」のコラボレーション—（株）伊達屋— YUHIRO I. 単著 『総合郷土研究所紀要』第68輯 2023年3月
- 新・鬼師の世界—鬼吉系：（株）丸市 単著 『文明21』第50号 1-28頁 2023年3月
- 新・鬼師の世界—周縁の再中心化：「鬼滅の刃」と「鬼師」のコラボレーション—（株）丸市 単著 『文明21』第49号 21-44頁 2022年12月

田森 雅一（教授）

《学会懇談会発表》

- 「グローバル化とライフ・ポリティクス—北西インド・ムスリム世襲楽士カーストの近現代—」 単独 文化人類学会中部地区懇談会／中部人類学談話会例会（於：中京大学）招聘講師 2023年2月

《学会発表》

- 「インド音楽世界における音楽家と演奏記録の統合的データベース構築とその可能性」 共同 東洋音楽学会・第73回大会（於：国際基督教大学）共同発表 2022年11月
- 「南アジアの花街における女性芸能者とその社会的世界—北インド・ラージャスターンの事例を中心に—」 単独 日本文化人類学会・第56回研究大会（於：明治大学）個人発表 2022年6月

塚本 鋭司（教授）

《学会口頭発表》

- 黎明期の質的研究法 単独 日本質的心理学会 第19回大会 2022年10月

片 茂永（教授）

《論文》

- 説経節の愛護若と一蓮托生 単独 『比較民俗学会報』第189号 2-11頁 2022年9月

八木 一行（教授）

《論文》

- N2O emission factors for organic amendments in Japan from measurement campaign and systematic review 共著 Science of the Total Environment, vol. 864 Akiyama, H., Sano, T., Nishina, K., Sudo, S., Oura, N., Fujimori, M., Uezono, I., Yano, S., Ohkoshi, S., Fujita, Y., Shiratori, Y., Tsuji, M., Hasukawa, H., Suzue, Y., Yamada, Y., Mizukami, H., Matsumoto, T., and Yagi, K. Article 161088 2023年1月

- Changes in methane production and oxidation in rice paddy soils induced by biochar addition 共著 Applied Soil Ecology, Vol. 179 2022年7月
Sriphiro, P., Towprayoon, S., Yagi, K., Rossopa, B., and Chidthaisong, A. Article 104585

飯島 幸子 (准教授)

《論文》

- エイジェンシー観点に基づいた「大学改革」後の転機に関するライフヒストリー分析—「ドイツ統一」とベルリン・フンボルト大学社会科学者の事例研究— 単著 『文明21』 第49号 55-75頁 2022年12月

《学会発表》

- 「ドイツ統一」に関するライフヒストリーにおけるエイジェンシーの発露—ベルリン・フンボルト大学社会科学者の転機の実例分析— 単独 第15回東海社会学会大会 2022年6月

磯野 徹 (准教授)

《論文》

- 日本人英語学習者の発音記号習得順序に関する研究 単著 『言語と文化』 第47号 129-141 2023年1月

伊藤 潤 (准教授)

《論文》

- 「市区町村における国民保護行政の現況分析」 共著 『人文社会科学論集』（茨城大学人文学部紀要）第2号 川島佑介、伊藤潤、吐大祐 pp. 121-136 2023年2月

《書評》

- 文献紹介 『法情報の調べ方入門—法の森のみちしるべ—』（ロー・ライブラリアン研究会編） 単著 『専門図書館』（専門図書館協議会）第274号 pp. 169-174 2022年10月
- 書評 『在外邦人の保護・救出—朝鮮半島と台湾海峡有事への対応—』 単著 『戦略研究』 第31号 pp. 169-174 2022年10月

ウィリアム ブルックス (准教授)

《論文》

- 第48回2022年 JALT 大会カンファレンスレビューの2つの視点レビュー 共著 On CUE Journal 14.1 2022 Vol. 14: 184-187 2022年12月

《学会等発表》

- プロジェクトベースの学習で MS Excel と MS Word の使い方を学生に教えるための25分間ワークショップ 単独 JALT（全国語学教育学会）第48回大会議ワークショップ発表（対面カンファレンス） 2022年11月
- 日本の技能実習生と特定技能労働者の現状について（博士研究内容について） 単独 ソフィア大学 ASCJ（オンライン・カンファレンス） 2022年7月

川上 ゆか (准教授)

《学会発表》

変遷する授業環境下での協働学習実践における工夫と課題 単独 第25回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム 2022年8月

高村 めぐみ (准教授)

《論文》

「外国人に方言を使用することに対する意識—東海地方における調査—」 単著 『文明21』 第50号 115-130頁 2023年3月

「学部留学生在が抱えるノートテイキングの困難点」 単著 『言語と文化』 第47号 143-158頁 2023年1月

西部 真由美 (准教授)

《論文》

Compound Adjectives in Corpus of Contemporary American English: A preliminary study 単著 『文明21』 第49号 45-54頁 2022年12月

吉本 篤子 (准教授)

《論文》

情報モラルに関わる教材を用いた道徳科「相互理解、寛容」指導の課題と意義 単著 愛知大学教職課程研究年報 第12号 67-80頁 2023年2月

《コラム》

マックス・ラーベとパラスト・オーケストラ—現代に生きる20世紀ドイツ大衆歌謡— 単著 愛知大学語学教育研究室編 『Aichi University Lingua』 第20号 4-5頁 2022年12月

《図書紹介》

教員から学生への推薦図書『はじめての西洋ジェンダー史』 単著 愛知大学図書館編「韋編」(49) 4-4 2022年11月 4頁 2022年11月

エレノア モリー スミス 助教

《論文》

Improving Equity and Representation within JALT: Raising Awareness through Discussion 共著 The Language Teacher 46(6) Smith, E., Amundrud, T., Lee, J. K. Y., and Hoffman Aoki, Q. 29-33頁 2022年11月

コランタン ピーターズ 助教

《論文》

Pour une épingle à cheveux (Kanzashi, Shimizu Hiroshi, 1941) : Tourner le dos à la 単著 『文明21』 第50号 pp. 203-215 2023年3月

L'Assassin habite au 21 : Naissance d'un cinéaste sous l'Occupation 単著 La Censure et les périodiques sous l'Occupation allemande dans le sud de la France pp. 31-42 2022年12月

La compréhension orale en ligne, vers une pédagogie de l'asymétrie 《学会等発表》	共著	RENCONTRES 36 関西フランス語教育研究会 Pieters Corentin, Cherbonnet Fabien pp. 30-34	2022年7月
L'implicite culturel et sa place dans l'enseignement du FLE au Japon	共同	第37回関西フランス語教育研究会オンライン発表 Pieters Corentin, Cherbonnet Fabien	2023年3月
動画での演出と外国語としてのフランス語—日本人学習者のための口頭理解の能力向上のための映像活用—	単独	日本フランス語フランス文学会オンライン発表	2022年12月
Retour aux sources: Représentation de la famille en temps de guerre dans le film Pour une épingle à cheveux (1941) de Shimizu Hiroshi	単独	第2回研究会「戦争と映画 日本とフランスの場合」於 名古屋大学	2022年10月
S'exprimer sous l'occupation : Analyse du film L'Assassin habite au 21	単独	第1回研究会「戦争と映画 日本とフランスの場合」於 名古屋大学	2022年6月

マカロム デレス (助教)

《著書》

Introduction—Children and youths'migration in a global landscape: Young lives lived in motion Sociological Studies of Children and Youth, Vol: 29	共著	Emerald Publishing Limited A. L. Atterberry, D. G. McCallum, S. Tu & A. Lutz pp. 1-9	2022年5月
---	----	--	---------